

ホンモロコ卵の干出低減を目指した産卵基体の検討

臼杵 崇広

◆背景・目的

水位操作に伴い多少水位が低下しても対応が可能なホンモロコ卵の干出低減を目指した産卵基体を考案し、試作する。

◆成果の内容・特徴

- ・ 湖北町3カ所、西浅井町1カ所の計4カ所で浮き方、構造などを変えた産卵基体を用いてホンモロコの産卵調査を5月上旬～7月下旬まで実施した(図1,2)。
- ・ ホンモロコの産着卵が確認されたのは西浅井町のみであったが(図3)、湖北町ではコイなどの産着卵が多くみられた(図4)。
- ・ 西浅井町では産卵基体の浮き方、構造に関係なく、特定の場所で産着卵数が多い傾向がみられた。
- ・ 湖北町では周辺のヤナギの根や株立したヨシに産卵しているにもかかわらず、設置した産卵基体では産着卵がみられなかったことから、設置する場所の選定が重要であると考えられた。

◆成果の活用・留意点

より産卵に適した構造および産卵基体の設置場所について検討する必要がある。

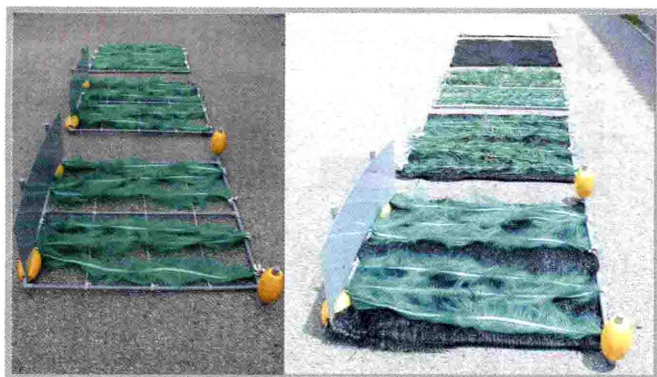


図1 試作した産卵基体.



図2 産卵基体の設置状況(湖北町).



図3 ホンモロコ産着卵(西浅井町).



図4 コイ産着卵(湖北町).